

【模範解答】

①

日本史 B

受験番号				氏名	

1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	エ	ク	ス	タ	ケ	サ	セ	シ	ウ	カ

2	問1	①	藤原京			②	平城京				
	問2	(1)	ア	(2)	天武天皇			(3)	ウ	(4)	イ
	問3	(1)	ウ	(2)	光明子 (光明皇后)						
		(3)	長屋王			(4)	木簡				
	問4	(1)	ウ	(2)	ア						

3	問1	(1)	足利尊氏			(2)	ウ	問2	ウ
	問3	(1)	北条義時			(2)	後鳥羽上皇 (後鳥羽も可)		
	問4	ア	問5	イ	問6	(1)	ア	(2)	エ
	問7	(1)	連署			(2)	エ		

4	問1	(1)	エ	(2)	藤原道長				
	問2	(1)	エ	(2)	ウ	(3)	平清盛		
	問3	(1)	ア	(2)	エ	問4	ア	問5	エ
	問6	(1)	ウ	(2)	豊臣秀吉				
	問7	イ	カ	問8	一世一元				
	問9	イ	問10	(1)	ウ	(2)	エ		

合計	
----	--

# 2020年度一般入試 A日程

## — 傾向と対策 —

### 日本史B

#### 出題のねらい

高等学校の日本史Bの教科書で学習する範囲を中心にして出題をおこなっています。基本的には、歴史を学ぶ目的を理解し、具体的な事実を正しく認識しているかどうかを重要視しています。昨今は現代との繋がりで歴史を理解する力が社会に求められていることもあり、単なる人名や年代の機械的な暗記ではなく、テーマや地域を貫く問題を軸にして、歴史的な事項を把握・理解していくことが大切です。それが混迷する時代の中で、あなたの《生》の羅針盤となってくれるはずです。

#### 出題形式・内容（分野）について

出題の形式は、次の3問で構成されています。

- ①文章や史料の空欄の部分に語群や選択肢から正解を選んで充当する。
- ②文章や史料を読んで下線部分の設問に解答し、空欄を補充する。
- ③文章に引かれたいくつかの下線部の中で、正誤を判定し、誤っているものを選ぶ。

内容は、政治・外交・経済・文化にわたり、テーマに即してそれらの分野が組み合わさって出題されています。

①は、近代の日本とアメリカ合衆国との外交史に関して基本的な事項を出題したものです。②は、奈良時代における都城と遷都についての理解をみるものです。③は鎌倉時代について書かれた南北朝時代の史料の理解をみるものです。④は、日本の関東地方をテーマにして、その地域が歴史の全体とどのように関わっているのかについて、基本的な事項の理解をみる問題です。④は、やや特殊なアプローチのため、驚くかもしれません。ただし、用語は基礎事項にしばってありますので、歴史を大きく把握しつつ事項の歴史的意義を学習しているならば、難なく解ける問題となっています。

#### 採点後の感想・効果的な学習方法

基本となるのは教科書の歴史記述をもとにした学習です。そして、正しい書き取りを繰り返し行い、漢字の記載ミスなどのケアレスミスが減らすと、得点も伸びます。近年、漢字が正しく書けていないことで不正解になるケースが目立ちます。漢字を用いて丁寧に書く練習をしてみましょう。

また近年、提示された文から推理して解く必要のある問題が増加していますが、本問にもこうした推理力が必要となる問題があります。推理力を働かせるためには、じっくりと問題文を最後まで読み、その上で解答するよう心がけましょう。問題の直前にあるものだけから解答してしまうと、思わぬ落とし穴にはまってしまうから、気をつけましょう。

最後に、テーマを定め、それに応じて教科書を縦横に読んで、自分なりに再構成し、ノートにまとめてみましょう。歴史は生きていますから、現代に残る文化や遺物の歴史的背景を探りながら教科書を読み、自分の手でまとめていくと受験勉強を超えた「知」へのいざないになることと思います。